

令和 5 年 6 月 14 日現在

機関番号：12603

研究種目：新学術領域研究(研究領域提案型)

研究期間：2017～2021

課題番号：17H06341

研究課題名(和文)顔と身体表現の文化フィールドワーク研究

研究課題名(英文)An Cultural Anthropological Study on Face-Body based on Fieldwork

研究代表者

床呂 郁哉(Tokoro, Ikuya)

東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・教授

研究者番号：90272476

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 59,500,000円

研究成果の概要(和文)：本研究班は、人類学的フィールドワークを含むフィールドサイエンスの研究手法を駆使し、顔と身体表現について、世界各地の現場の社会・文化的な文脈に即した調査研究を実施してきた。より具体的には、顔や関係する身体表現に関して、イスラーム圏を含む東南アジア域内における異なる文化・社会的文脈に応じた比較研究を遂行してきた。この期間中、調査研究に関しては、顔を含む各種の身体的表現、衣服、装飾、仮面、ヴェール・スカーフ、日本発の所謂「カワイイ」文化の受容と越境をめぐる問題など顔と身体表現に関わる項目に関し、東南アジア等での実地調査に基づく研究を実施した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究班は、人類学的フィールドワークを含むフィールドサイエンスの研究手法を駆使し、東南アジアやアフリカ、中東などを世界各地の顔と身体表現について、現場の社会・文化的な文脈に即した調査研究を実施してきた。この研究を通じて、ともすると普遍主義的で西洋中心主義的な固定概念に影響されがちな顔・身体表現に関する既成の見方を相対化し、非西洋を含むより広い地域における身体表現や実践の多様性と豊かさに注目を促すことに寄与できた。また障害者をめぐる差別や偏見などの問題に関しても東南アジアやアフリカなどの事例から欧米中心的ではない視点を問題提起することができた。

研究成果の概要(英文)：Our research team has utilized field science research methods, including anthropological fieldwork, to conduct investigative studies on facial and bodily expressions within the socio-cultural contexts of various field sites around the world. Specifically, we have undertaken comparative research focused on different cultural and social contexts within the Southeast Asian region, including the Islamic world, regarding facial and related bodily expressions. Throughout this period, our research has encompassed various aspects related to facial and bodily expressions, such as different forms of physical expressions, clothing, adornments, masks, veils, scarves, and issues surrounding the reception and transgression of Japan's so-called "kawaii" culture. These investigations have been conducted through on-site research in Southeast Asia and other relevant locations.

研究分野：文化人類学・東南アジア地域研究

キーワード：顔 身体表現 文化人類学 フィールドワーク 東南アジア ポピュラー文化 芸能 衣服・仮面・マスク

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

現在、インターネットなど電子メディアの発達によって、文化や情報の地域や国境を越えた流動や混淆(いわゆるトランスカルチャー的状況)が顕著となっている。この状況は、私たちの顔や身体をめぐる経験にも大きな影響を及ぼしている。その結果、顔(や身体)に関する解釈や価値づけ、美意識等に関するグローバルな規模での標準化・画一化の圧力に晒されている。にもかかわらず、他方ではイスラーム圏におけるヴェールによる顔の隠蔽などに代表されるように、ローカルな文化や個別の文脈ごとの顔や身体に関する独自の意味づけや実践なども逆に重要性を増しつつある。本研究では、以上のような状況認識と問題意識を前提としながら、フィールドワークを含む文化人類学的手法を駆使することで、アジア・アフリカなど各地の異なる文化圏や地域の実際の生活現場における顔や身体表現をめぐる差異とその意味に関して実証的に比較検討する計画で研究を開始した。

2. 研究の目的

本研究は、上記「研究開始当初の背景」で述べたような問題意識に基き、日本や欧米のみならず、アジアやアフリカ、中東を含む世界各地における人類学的フィールドワークを含むフィールドサイエンスの研究手法を駆使し、顔と身体表現について、世界各地の現場の社会・文化的な文脈に即した具体的な身体表現や身体実践のあり方を調査し、その結果を比較検討する。こうした作業を通じて、ともすると普遍主義的ないし西洋中心主義的なバイアスに影響されがちな従来の身体観を相対化し、各地の身体表現の多様性に基いたより豊かな身体観への転換を学問的に促していくことを目的として共同研究を実施してきた。

3. 研究の方法

本研究では、人類学的フィールドワークを含むフィールドサイエンスの研究手法を駆使し、顔と身体表現について、現場の文脈に即した調査研究を行うことを主眼としている。具体的な方法は概ね次の通りである。

研究代表の床呂郁哉は日本発の所謂「カワイイ」文化や、アニメ・マンガ等を含むオタク文化における身体表現に関して、その海外における展開や受容の現状を含む比較検討を実施したほか、2020年度以降はインターネットを駆使してZOOMなどによる身体表現に関する調査・観察やSNS上の身体表現、コロナ・ウイルスに関する擬人化的な表現などに関しても資料の収集と分析を実施した。塩谷もも(島根県立大学)はインドネシアにおけるヴェールやスカーフの着用などをはじめとする現地の被服文化と身体的表現を含む顔や身体の出と隠蔽に関する研究を実施した。吉田ゆか子(AA研)と田中みわ子(東日本国際大学)は、インドネシアにおける仮面芸能を含む身体表現(障害者に関する表現を含む)に関する共同研究を実施してきた。そこで焦点を当てて重点的な検討を実施したのは、バリ島のコメディ演劇活動実践の展開およびその位置づけであり、もう一つは、バリ芸能の近年における新たな潮流に関する実地調査を含めた分析である。西井涼子(AA研)はムスリムと仏教徒が日常生活空間を共有して共在する南タイにおいて死者の身体に触るという行為などに注目して、その文化的含意等の検討を行った。また研究員の吉田優貴(AA研)は東アフリカ・ケニアの聾学校における聾者の身体表現に関する研究を実施した。また2020年度以降は研究協力者として新たに後藤真実(学振研究員)が参加し、中東湾岸諸国におけるマスクの着用を含む顔・身体表現に関する研究を行った。

なお 2020 年度から 21 年度においてはコロナ・パンデミックの影響で海外における実地調査がほぼ不可能になった状況に鑑み、本研究班では代替手段として電子メディア上の身体表現などを対象とした研究、たとえば ZOOM を通じたフィールド調査、SNS 上の身体表現などに関する資料収集と分析なども実施してきた。

4. 研究成果

本共同研究メンバー各自がそれぞれの対象国や地域において各自のスケジュールに応じて臨地調査を実施してきた。先述のように 2020 年度以降はコロナ・パンデミックが世界各地に波及したことの影響により、海外各地におけるフィールドワークの実施が極めて困難になってしまっているという状況にも直面した。このため、2020 年度以降では、これまでに収集したデータや資料の分析・検討を実施している他、IT メディアの活用等を含め、パンデミック状況下でも実施可能な資料収集と調査研究の方法論の検討なども行ってきた。具体的には、床呂はコロナ状況下のネット空間における新型コロナ・ウイルスの擬人化をめぐって資料収集と分析を実施した。また吉田ゆか子はコロナ状況下でのバリ芸能におけるマスクやフェイスシールドの利用の事例や、マスクやフェイスシールドを付けた踊り手の姿が利用されている事例を集め分析した他、田中みわ子と共同で行ってきたバリの身体障害者によるコメディ劇についての調査の結果をまとめて、成果論文集『コロナ時代の身体コミュニケーション』に寄稿した。また塩谷はインドネシアでの過去の現調査で得た資料整理を実施し、同時に日本における布や衣服に関する調査を実施した他、西井もタイにおいて前述の主題に関して調査研究を実施した。なお本計画班全体に関わる研究成果として 2021 年 11 月には床呂を編者とし、吉田ゆか子らを共著者として『わざの人類学』（京都大学学術出版会）を出版した他に、2020 年 10 月 26 日にオンラインで実施した国際シンポジウム“Performing the Self and Playing with the Otherness: Clothing and Costuming under Transcultural conditions”のブローディングをまとめて刊行した。またこのほかに代表者、分担者、協力者ともに、本領域の成果である河野哲也・床呂郁哉ほか編（2021）『顔身体学ハンドブック』（東京大学学術出版会）に複数の項目・記事を執筆・掲載した。

以上のように概して本研究班は、人類学的フィールドワークを含むフィールドサイエンスの研究手法を駆使し、東南アジアやアフリカ、中東などを世界各地の顔と身体表現について、現場の社会・文化的な文脈に即した調査研究を実施してきた。この研究を通じて、ともすると普遍主義的で西洋中心主義的な固定概念に影響されがちな顔・身体表現に関する既成の見方を相対化し、非西洋を含むより広い地域における身体表現や実践の多様性と豊かさに注目を促すことに寄与することができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計24件（うち査読付論文 21件 / うち国際共著 7件 / うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 Ikuya Tokoro	4. 巻 Vol.2, No.1
2. 論文標題 The Role of Transformative Body Ornamentation in Human Sociality: An Essay from Evolutionary and Ethnographic Perspectives	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 PHILOSOPHY & CULTURAL EMBODIMENT	6. 最初と最後の頁 online
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 床呂郁哉	4. 巻 1
2. 論文標題 オタク文化 / カワイイ文化とその越境	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 コロナ時代の身体コミュニケーション（山口真美、河野哲也、床呂郁哉編、勁草書房）	6. 最初と最後の頁 55-84
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 床呂郁哉	4. 巻 1
2. 論文標題 「わざ」の人類学のための序章	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 わざの人類学（床呂郁哉編、京都大学学術出版会）	6. 最初と最後の頁 1-24
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 床呂郁哉	4. 巻 1
2. 論文標題 身体変容の『わざ』としてのコスプレ：アート / テクノロジーを越えて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 わざの人類学（床呂郁哉編、京都大学学術出版会）	6. 最初と最後の頁 63-86
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 床呂郁哉	4. 巻 2
2. 論文標題 新たな「もの」の人類学のための序章 脱人間中心主義のための可能性と課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 床呂郁哉・河合香史編『ものの人類学2』京都大学学術出版会	6. 最初と最後の頁 1-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 床呂郁哉	4. 巻 2
2. 論文標題 「もの」が創発するとき 真珠養殖の現場における「もの」、環境、人間の複雑系的なエンタングルメント	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 床呂郁哉・河合香史編『ものの人類学2』京都大学学術出版会	6. 最初と最後の頁 45-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西井涼子	4. 巻 2
2. 論文標題 「もの人間」のエスノグラフィ - ラスタからダツワ実践者へ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 床呂郁哉・河合香史編『ものの人類学2』京都大学学術出版会	6. 最初と最後の頁 149-171
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西井涼子	4. 巻 1
2. 論文標題 「見えないもの」という極限から生きる世界を考える - 精霊と死者と放射能を手がかりに	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 河合香史編『極限-人類社会の進化』京都大学学術出版会	6. 最初と最後の頁 267-290
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishii, Ryoko	4. 巻 1
2. 論文標題 A Corpse Neecessitates Disentangled relationships: Boundary Transgression and Boundary-Making in a Buddhist-Muslim Village in Southern Thailand	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Iselin Frydenlund and Michael Jerryson (eds.)Buddhist-Muslim Relations in a Theravada World. (Palgrave Macmillan)	6. 最初と最後の頁 169-195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田ゆか子・田中みわ子	4. 巻 1
2. 論文標題 パリ島のコメディ劇における「障害」のある身体をめぐる遊戯	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 コロナ時代の身体コミュニケーション (山口真美、河野哲也、床呂郁哉編、勁草書房)	6. 最初と最後の頁 143-174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida, Yukako	4. 巻 1
2. 論文標題 'Who are the Communities Involved in Intangible Cultural Heritage?: A Consideration of the "Beautiful Indonesia Miniature Park" Proposal as Best Practice.'	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the 5th Symposium: The ICTM study group on performing arts of Southeast Asia	6. 最初と最後の頁 210-212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikuya Tokoro	4. 巻 Volume 15 Issue 2
2. 論文標題 "Muslim Cosmopolitanism: Southeast Asian Islam in Comparative Perspective. By Khairudin Aljunied."	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Asian Studies	6. 最初と最後の頁 255-257
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikuya Tokoro	4. 巻 1
2. 論文標題 "The Turing Test in the Wild: When NonHuman " Things " Become Others"	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Others: The Evolution of Human Sociality	6. 最初と最後の頁 407-424
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryoko Nishii	4. 巻 1
2. 論文標題 The " Face " and the other: Muslim Women Behind the Veil	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Others: The Evolution of Human Sociality	6. 最初と最後の頁 283-301
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikuya Tokoro	4. 巻 1
2. 論文標題 The Turing Test in the Wild: When NonHuman " Things " Become Others	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Others: The Evolution of Human Sociality	6. 最初と最後の頁 407-424
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 床呂郁哉	4. 巻 1
2. 論文標題 「もの」研究の新たな視座	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『詳論 文化人類学』	6. 最初と最後の頁 265-278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikuya TOKORO & Kaori KAWAI	4. 巻 1
2. 論文標題 Why the Anthropology of Mono(Things)?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 An Anthropology of Things	6. 最初と最後の頁 18-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ikuya TOKORO	4. 巻 1
2. 論文標題 Mono beyond control: A New Perspective on Cultured Pearls	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Ikuya TOKORO & Kaori KAWAI (eds.) An Anthropology of Things	6. 最初と最後の頁 81-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ikuya TOKORO & Hisao TOMIZAWA	4. 巻 Vol.2
2. 論文標題 Introduction: Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ryoko Nishii	4. 巻 Vol.2
2. 論文標題 The Da'wa Movement and the Diversity of Muslim Communities in Thailand	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia	6. 最初と最後の頁 285-294
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ryoko Nishii	4. 巻 1
2. 論文標題 Was the Old Woman's Death a Suicide? A Discussion on the Basis of Institutions	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Institutions: The Evolution of Human Sociality	6. 最初と最後の頁 372-390
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 田中みわ子	4. 巻 54
2. 論文標題 芸術創造の新しいかたちを考える：障害者アートの実践をめぐる	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 駿河台大学論叢	6. 最初と最後の頁 175-192
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15004/00001717	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yukako Yoshida	4. 巻 Vol.2
2. 論文標題 Balinese Dances in Multi-religious Jakarta: A preliminary Study of Muslim Learners and Hindu Instructors	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia	6. 最初と最後の頁 77-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Momo SHIOYA	4. 巻 Vol.2
2. 論文標題 Increasing Interest in Islamic Clothes and "Correctness" in Indonesia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia	6. 最初と最後の頁 59-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計32件（うち招待講演 11件 / うち国際学会 12件）

1. 発表者名 床呂郁哉
2. 発表標題 身体装飾から人類進化を考える（その ） 「カワイイ」 / ネオテニーと人類進化をめぐる試論
3. 学会等名 「社会性の起源」研究会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 床呂郁哉
2. 発表標題 東南アジアのムスリム社会における日本発ポピュラー文化の越境 - マレーシアとフィリピンにおけるマンガ・アニメ・コスプレ等の受容を中心に
3. 学会等名 アジア経済研究所「（知の）異種格闘技」研究会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 床呂郁哉
2. 発表標題 新型コロナ・ウイルスから考える「ひと」 / 「もの」関係：コロナ・ウイルスの擬人化をめぐるオンライン調査からの試論
3. 学会等名 科研基盤B「もの人類学：技芸複合の視点から」研究会（オンライン）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 床呂郁哉
2. 発表標題 イントロダクション - トランスカルチャー状況下における顔・身体学の構築
3. 学会等名 第四回公開シンポジウム - トランスカルチャー状況下における顔・身体学の構築
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 床呂郁哉
2. 発表標題 カワイイ文化/オタク文化における身体表象の試論的考察 東南アジアにおける フィールドワークの現場から
3. 学会等名 第四回公開シンポジウム - トランスカルチャー状況下における顔・身体学の構築
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tokoro, Ikuya
2. 発表標題 Introduction on Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia
3. 学会等名 Workshop on Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 床呂郁哉
2. 発表標題 顔と身体表現の文化フィールドワーク研究 計画班A01-P01研究進捗報告
3. 学会等名 科研新学術「トランスカルチャー状況下における顔・身体学の構築 - 多文化をつなぐ顔と身体表現」第4回領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 床呂郁哉
2. 発表標題 フィリピンにおける描画実験に関する試論的考察
3. 学会等名 科研費（新学術）「トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築」A01-P01、A01-P02合同研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoshida, Yukako
2. 発表標題 Inter-religious understanding and adjustment through dance: A study of Muslim learners and Hindu instructors of Balinese dance in Jakarta.
3. 学会等名 Asia Pacific Dance Festival Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishii, Ryoko
2. 発表標題 Touching the Body at Death: Muslim-Buddhist co-existence in Southern Thailand
3. 学会等名 Workshop Radical Embodied Cognition (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishii, Ryoko
2. 発表標題 Convert 's body as an arena of entangled Muslim-Buddhist relationships in a Southern Thai village
3. 学会等名 International Conference on Resources and Human Mobility (Jointly organized by Mahidol University International College (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西井涼子
2. 発表標題 死と集合性 - 社会性の起原の探究にむけて
3. 学会等名 科学研究費補助金基盤研究 (S) 「社会性の起原と進化: 人類学と霊長類学の協働に基づく人類進化理論の新開拓」立ち上げシンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西井涼子
2. 発表標題 死と身体 「触る」ことからみる南タイのムスリム 仏教徒関係
3. 学会等名 新学術領域研究「トランスカルチャー状況下における顔・身体学」第5回領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 床呂郁哉
2. 発表標題 「顔と身体表現の文化フィールドワーク研究（計画班A01-P01：18年度後半進捗報告）」
3. 学会等名 「トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築 - 多文化をつなぐ顔と身体表現」、第3回領域会議
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 床呂郁哉
2. 発表標題 「「かわいい」をめぐる問題系：アジアにおけるカワイイ文化フィールドワーク研究 の視点から（コメント）」
3. 学会等名 「ラウンドテーブル「かわいい」の進化と文化」発達心理学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 床呂郁哉
2. 発表標題 「顔・身体学研究に関するイントロダクション」
3. 学会等名 第三回シンポジウム「トランスカルチャー状況下における顔・身体学の構築」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 床呂郁哉
2. 発表標題 「身体的経験をめぐる人類学と現象学からのアプローチ 不完全な身体、人種と身体、妊娠期の身体の事例から（イントロダクション）」
3. 学会等名 科研「顔身体学の構築」哲学班・人類学班合同公開WS
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 塩谷もも
2. 発表標題 「インドネシアにおけるムスリムファッションに関する人類学的研究」
3. 学会等名 「トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築 - 多文化をつなぐ顔と身体表現」、第2回領域会議
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Momo Shioya
2. 発表標題 "The Meaning of Veiling in Contemporary Indonesia"
3. 学会等名 シンポジウム「ムスリム女性のヴェールをめぐる学際研究」, (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yukako Yoshida
2. 発表標題 "Disabled Bodies and Humor: Two cases of Balinese comedy theater"
3. 学会等名 UMS-TUFS Exchange Lecture on Culture and Society of Southeast Asia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yukako Yoshida
2. 発表標題 "Mediation and Transformation in Balinese masked theater."
3. 学会等名 公開シンポジウム「トランスカルチャーとは何か? : 心理学と哲学の協働」(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田ゆか子
2. 発表標題 「バリ島のコメディにおける不完全な身体の表象をめぐる人類学的考察」
3. 学会等名 公開ワークショップ「身体的経験をめぐる人類学と現象学からのアプローチ 不完全な身体、人種と身体、妊娠期の身体の事例から」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 床呂郁哉
2. 発表標題 顔と身体表現の文化フィールドワーク研究
3. 学会等名 科研新学術領域「トランスカルチャー状況下における顔・身体学の構築」第一回領域会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 床呂郁哉
2. 発表標題 趣旨説明とイントロダクション
3. 学会等名 第二回公開シンポジウム「トランスカルチャー状況下における顔・身体学の構築」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 床呂郁哉
2. 発表標題 顔と身体表現の文化フィールドワーク研究
3. 学会等名 科研新学術領域「トランスカルチャー状況下における顔・身体学の構築」キックオフ・シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikuya TOKORO
2. 発表標題 Brief introduction of Multi-disciplinary Study on Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia
3. 学会等名 穩健主義育成に関するアジア地域関係者ワークショップ（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yukako Yoshida
2. 発表標題 Faces in Balinese culture as reflected in masked performance topeng
3. 学会等名 International Society for Theoretical Psychology
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryoko Nishii
2. 発表標題 The Da'wa movement in Pai town-how to continue its passion
3. 学会等名 13th International conference on Thai Studies（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryoko Nishii
2. 発表標題 Converts and death: Muslim-Buddhist relationships in a Southern Thai village
3. 学会等名 International Workshop on Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia (3) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉田ゆか子&イ・クトゥット・コディ
2. 発表標題 仮面と踊る - 演者イ・クトゥット・コディ氏を迎えて
3. 学会等名 国際ワークショップ「トランスカルチャー状況下における顔・身体学の構築」(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yukako Yoshida
2. 発表標題 Laughing at our imperfect body: Representations of physical impairments in the Balinese masked dance-drama topeng.
3. 学会等名 The 44rd world conference, International Council for Traditional Music, Irish World Academy of Music and Dance (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田中みわ子
2. 発表標題 身体表現にみる眼差しのダイナミクス
3. 学会等名 第二回公開シンポジウム「トランスカルチャー状況下における顔・身体学の構築」(招待講演)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計11件

1. 著者名 山口 真美、河野 哲也、床呂 郁哉	4. 発行年 2022年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 272
3. 書名 コロナ時代の身体コミュニケーション	

1. 著者名 河野 哲也、山口 真美、金沢 創、渡邊 克巳、田中 章浩、床呂 郁哉、高橋 康介	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 464
3. 書名 顔身体学ハンドブック	

1. 著者名 床呂 郁哉	4. 発行年 2021年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 368
3. 書名 わざの人類学	

1. 著者名 床呂郁哉・吉田ゆか子・吉田優貴（編）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京外国語大学AA研	5. 総ページ数 167
3. 書名 『国際ワークショップ：トランスカルチャー状況下における顔・身体』	

1. 著者名 床呂郁哉・河合香史編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 301
3. 書名 『ものの人類学2』	

1. 著者名 床呂郁哉・吉田ゆか子・吉田優貴（編）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ILCAA	5. 総ページ数 167
3. 書名 『トランスカルチャー状況下における顔・身体（2018年3月国際ワークショップ・プロシーディングス）』	

1. 著者名 床呂郁哉	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東京外国語大学AA研	5. 総ページ数 101
3. 書名 トランスカルチャー状況下における顔・身体学の構築（第2回）シンポジウム報告書	

1. 著者名 吉田優貴	4. 発行年 2018年
2. 出版社 風響社	5. 総ページ数 356
3. 書名 いつも躍っている子供たちー聾・身体・ケニア	

1. 著者名 Ikuya TOKORO & Hisao TOMIZAWA(eds.)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Tokyo: Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa(ILCAA), Tokyo University of Foreign Studies	5. 総ページ数 341
3. 書名 Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia(Vol.2): Perspectives from Indonesia, Malaysia, the Philippines, Thailand, and Cambodia.	

1. 著者名 Ikuya TOKORO & Kaori KAWAI (eds.)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Kyoto University Press & Trans Pacific Press	5. 総ページ数 406
3. 書名 An Anthropology of Things.	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>計画班A01-P01 「顔と身体表現の文化フィールドワーク研究」 http://kao-shintai.jp/organization/A01-P01.html 科研新学術「トランスカルチャー状況下における顔・身体学の構築」計画班A01-P01の概要 http://kao-shintai.jp/organization/A01-P01.html</p>

6. 研究組織			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	吉田 ゆか子 (Yoshida Yukako) (00700931)	東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・准教授 (12603)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	田中 みわ子 (Tanaka Miwako) (10581093)	東日本国際大学・健康福祉学部・教授 (31604)	
研究分担者	西井 涼子 (Nishii Ryouko) (20262214)	東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・教授 (12603)	
研究分担者	塩谷 もも (Shioya Momo) (90456244)	島根県立大学・人間文化学部・准教授 (25201)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	吉田 優貴 (Yoshida Yutaka)		
研究協力者	後藤 真実 (Goto Manami)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------